



J.Fukuda

サマー2000シリーズ

THE SAPPORO KINEN

第61回 札幌記念 (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 70,000,000円 28,000,000円 18,000,000円 11,000,000円 7,000,000円
付加賞 1,120,000円 320,000円 160,000円



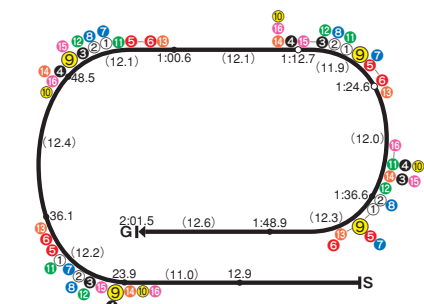
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 3歳55^{kg}以上4歳以上58^{kg}、牝馬2^{kg}減

2025.8.17 札幌 曇・稍重 芝2000m (国際) (特例)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	トップナイフ	牡 5	58	横山典弘	2:01.5	12-11-5-3	36.2	484(-8)	25.6⑩	昆 貴(栗東)	113
2	⑤	コナッツブラウン	牝 5	56	北村友一	1	11-11-12-10	35.5	460(-10)	5.0②	上村洋行(栗東)	107
3	⑭	アラタ	牡 8	58	浜中 俊	¾	14-14-14-10	35.0	472(+4)	134.5⑬	和田勇介(美浦)	110
4	⑥	ケイアイセナ	牡 6	58	吉田準人	ハナ	2-2-2-1	37.0	470(-12)	61.6⑫	平田 修(栗東)	110
5	⑩	ヴェローチェエラ	牡 4	58	佐々木大輔	½	15-16-14-13	35.1	500(+4)	7.0④	須貝尚介(栗東)	
6	①	リビアンガラス	牡 5	58	鮫島克駿	1½	4-5-6-6	36.8	496(-4)	22.4⑧	矢作芳人(栗東)	
7	③	シュトルーヴェ	騾 6	58	R.キング	½	9-9-10-10	36.4	478(-4)	19.8⑦	堀 宣行(美浦)	
7	⑤	ホウオウビスケッツ	牡 5	58	岩田康誠	同着	3-3-3-3	37.1	514(+12)	3.7①	奥村 武(美浦)	
9	②	ボーンデイスウェイ	牡 6	58	木幡巧也	¾	7-7-8-7	36.7	496(-2)	139.3⑬	牧 光二(美浦)	
10	④	コスモキュランダ	牡 4	58	丹内祐次	1½	12-13-13-13	36.1	498(-6)	10.7⑥	加藤士津八(美浦)	
11	⑫	アルナシーム	牡 6	58	藤岡佑介	アタマ	9-9-10-9	36.7	448(-4)	24.1⑨	橋口慎介(栗東)	
12	⑦	ハヤテノフクノスケ	牡 4	58	横山和生	クビ	6-5-3-3	37.5	534(+2)	7.0⑤	中村直也(栗東)	
13	⑬	アウスヴァール	騾 7	58	古川吉洋	1¾	1-1-1-2	38.4	488(+2)	270.3⑮	昆 貴(栗東)	
14	⑧	シュヴァリエローズ	牡 7	58	武 豊	1¾	16-14-14-16	36.6	462(-4)	50.4⑪	清水久詞(栗東)	
15	⑥	ステレンボッシュ	牝 4	56	池添謙一	¾	7-7-8-7	37.7	472(+4)	5.5③	国枝 栄(美浦)	
16	⑪	ショウナンアディブ	牡 6	58	荻野琢真	大差	4-4-6-13	40.0	516(+4)	431.3⑯	高野友和(栗東)	

単勝⑨2,560円(10th%) 複勝⑤530円(8th%) ⑩260円(4th%) ⑪1,970円(13th%) 枠連⑤-⑩1,590円(8th%)
馬連⑨-⑤7,140円(27th%) ワイド⑨-⑤1,740円(23th%) ⑨-⑤21,700円(84th%) ⑨-⑤9,690円(64th%)
馬単⑨-⑤20,750円(73th%) 3連複⑨-⑭-⑤193,350円(258th%) 3連単⑨-⑤-⑭1,307,650円(1,534th%)
5重勝⑨⑩⑪⑫⑬2,617,070円(190票) 対象競走: 新潟6R・札幌10R・中京7R・新潟7R・札幌11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
36.1 - 48.5 - 1:00.6 48.8 - 36.9

アラカルト

- ・横山典弘騎手はノームコアで制した20年に続く札幌記念4勝目。JRA重賞は本年初勝利、通算190勝目。また、57歳5ヵ月26日でのJRA重賞制覇は、自身の持つ記録を更新する騎手のJRA重賞最年長勝利記録
- ・昆貴調教師は札幌記念初勝利。JRA重賞はマテンロウレオで制した22年きさらぎ賞に続く通算20勝目
- ・デクラレーションオブウォー産駒はJRA重賞通算5勝目
- ・5歳馬の勝利は23年ブロンズに続く通算18回目
- ・複勝1,970円、ワイド21,700円は各式別における本競走の最高払戻金額
- ・非抽選馬 2頭(エコロブルーム、オールナット)

トップナイフ *Top Knife*

牡 青鹿毛 2020.3.9生
北海道浦河町 杵臼牧場生産
馬主・安原浩司氏 栗東・昆貢厩舎
馬名意味・超一流の技術

ワンスウエドUSA系 F4-m

デクラレーションオブウォーUSA Declaration of War 鹿毛 2009	War Front 鹿毛 2002	Danzig Starry Dreamer
	Tempo West 栗毛 1999	Rahy Tempo
ビーウインド 鹿毛 2001	スピニングワールドUSA 栗毛 1993	Nureyev Imperfect Circle
	ビクトリーマッハ 黒鹿毛 1989	バンブーアトラス
		ワンスウエドUSA

5代までのインブリード：Northern Dancer S4×M4
Blushing Groom S4×M4 Forli S5×M5

INTERVIEW

鎌田正信 代表取締役社長(杵臼牧場)

脚が長くてきれいな馬体をしていました

父デクラレーションオブウォーの初年度産駒です。展示会で見て気に入ったことと、代表産駒のオルメドにNureyevの血が入っているので母のビーウインドにも合うかなと思いこの配合を決めました。本馬は生まれた時から脚が長くてきれいな馬体をした馬で、とても順調に育ててくれました。今後もとにかく無事にいってほしいと思います。

H.Yamanaka



重賞初制覇を果たした。

本馬は2歳時から一線級で活躍、ホーフルSではハナ差の2着に食い下がった実績を持つ。その後はタイトルを手前で足踏みが続き、陸蓋骨の手術のため、長期の戦線離脱も2度経験。6月に復帰してからの2戦は大敗を重ねたが、3年連続の参戦となった札幌記念(3歳時2着、4歳時6着)で鮮やかな変わり身を見せ、5歳の夏に念願の重賞初制覇を果たした。

デクラレーションオブウォー産駒の本馬は2歳時から一線級で活躍、ホーフルSではハナ差の2着に食い下がった実績を持つ。その後はタイトルを手前で足踏みが続き、陸蓋骨の手術のため、長期の戦線離脱も2度経験。6月に復帰してからの2戦は大敗を重ねたが、3年連続の参戦となった札幌記念(3歳時2着、4歳時6着)で鮮やかな変わり身を見せ、5歳の夏に念願の重賞初制覇を果たした。

父デクラレーションオブウォーUSA

英、愛、仏、北米13戦7勝(インターナショナルS・英^{G1}、クイーンアンS・英^{G1}、ダイヤモンドS・愛^{G3}、ヘリテイジS・愛^L、エクリプスS・英^{G1}2着、BCクラシック・米^{G1}3着)、14年から愛、豪、米、日で供用
〔代表産駒〕**ヴァウアンドデクレア** Vow and Declare(メルボルンC・豪^{G1})、**ウォーニング** Warning(ヴィクトリアダービー・豪^{G1})、**オルメド** Olmedo(仏2000ギニー^{G1})、**グーフ** Gufo(ベルモントダービー招待S・米^{G1})、**ファイアアットウィル** Fire At Will(BCジュベナイルターフ・米^{G1})、**デコレティドインヴェイダー** Decorated Invader(サマーS・加^{G1})、**ウイニングウェイズ** Winning Ways(クイーンズランドオークス・豪^{G1})、**トップナイフ**(本馬)、**エレクトリックガール** Electric Girl(ホットダニッシュS・豪^{G2})、**ヴォヤージュウォリアー** Voyage Warrior(香港スプリントC^{G2})、**シルヴァープロスペクター** Silver Prospector(ケンタッキージョッキークラブS・米^{G2})、**アーミーワイフUSA**(ブラックアイドスーザンS・米^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母ビーウインド

北海道浦河町 杵臼牧場生産 中央4戦0勝、地方19戦0勝
マジックウインド(07 牝父ネオユニヴァース)中央4戦0勝、地方29戦3勝
ステラウインド(09 牝父ゼンノロブロイ)中央32戦6勝(万葉S^{OP}、ジュンS、稲村ヶ崎特別、陣馬特別)、仏2戦0勝
ペプチドウインド(10 牝父ダンスインザダーク)中央21戦1勝、地方126戦2勝
エイユーピリオネア(11 牝父ヨハネスブルグUSA)中央23戦2勝
タケショウビクター(12 牝父スタチューオブリパティUSA)中央13戦0勝、地方5戦0勝
スマートルビー(13 牝父ゼンノロブロイ)中央16戦3勝(土湯温泉特別)
ジュンエスポワール(15 牝父ハーツクライ)中央9戦0勝、地方22戦3勝
ペルウインド(16 牝父オルフェヴール)中央1戦0勝、地方22戦4勝
ムーンライト(17 牝父ハーツクライ)中央36戦2勝
ニースパローズ(18 牝父オルフェヴール)中央4戦0勝
トップナイフ 本馬(20 牝父デクラレーションオブウォーUSA)中央19戦3勝(札幌記念^{GII}、萩S・L、ホープフルS^{G1}2着、札幌記念^{GII}2着、弥生賞ディープインパクト記念^{GII}2着、京都2歳S^{GIII}2着)
獲得総賞金196,243,000円
バッドレイト(21 牝父サトノダイヤモンド)中央8戦3勝(春日特別、木屋町特別)
※08、14、22、23、24(不受胎)、19、25(前年種付せず)

10番人気の伏兵が念願の重賞初制覇

「夏のスーパーGII」と呼ばれ、GI級の大物が毎年のように参戦してくる札幌記念だが、1番人気馬の勝利は2011年のトーセンジョーダンを最後に途絶えている。3年ぶりにフルゲートで争われた今年も、1番人気に支持された秋の天皇賞の3着馬ホウオウビスケッツは7着(同着)に敗れたうえ、レースは大波乱の決着に。10番人気の伏兵トップナイフが優勝、3着に13番人気のアラタが食い込んだ結果、3連単は札幌記念歴代2位にあたる「30万超え」の高配当が飛び出した。何が何でもの構えで先手を主張したアスヴァールが、出足に優れたケイアイセナを1コーナーでかわし、主導権を奪取。お昼過ぎまで降り続いた雨の影響が残る決った馬場(稍重)に、緩みのないラップを刻んで逃げる。ホウオウビスケッツは3番手につけ、3番人気に支持された出走馬中唯一のGIウイナー・ステレンボッシュは中団を追走。その内を突き、向正面から進出を開始したトップナイフの横山典弘騎手に対し、2番人気の支持を集めたクインSの2着馬コナツツブラウンは後方で未脚勝負に構えた。

勝負どころでホウオウビスケッツの背後に取り付いた横山騎手は、その内をすくって4コーナーをターン、2番手追走から先に抜け出したケイアイセナを追ってスパートをかける。ソツのないリードに比べ、トップナイフも息の長い末脚を發揮。懸命に抵抗するケイアイセナを競り落として先頭に立つと、外から追い込んできたコナツツブラウン以下の反撃を寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。